

昭和55年新年号

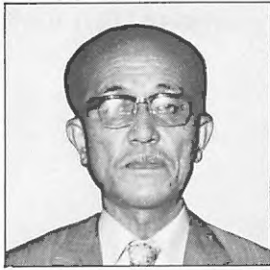
(昭和54年12月1日発行)

# かぬま



(45ホール) 鹿沼カントリー倶楽部

昭和55年より土・日・祭日プレーの予約  
受付開始日が変更(17日前)になります。



## リーダーの自覚をもって

理事長 鮎田 昇平

昭和54年10月をもって鹿沼カントリー倶楽部開場満15周年を迎えることができました。会員の皆様と共に心からお喜びいたします。

私が矢野秀男・前理事長のあとを引継いだのは、開場10周年の直後でしたから、私自身、理事長としてまもなく5周年を迎えることとなります。この間、たえず変動する経済環境の中にはありましたが、皆様のあたたかいご支援のお蔭で、前理事長の立派な業績をなんとか汚さずに勤めてこられましたことは、誠に感謝にたえないところでございます。あらためて厚く御礼を申し上げます。

鹿沼カントリー倶楽部は、県内9番目のコースとして、昭和39年にオープンいたしました。現在県内のコースは実に66を数えるに至り、まだ若干数、増えそうな見込みです。

ゴルフの隆盛ここに極まった感がありますが、今後の社会情勢に思いをめぐらしますと、ただ喜んでばかりはおれない状況と存じます。

これからは、栃木県のゴルフ場が、個々にだけでなく、全体として、より高い見地から、ゴルフ界の将来を見すえていく必要があります。そのためにも、15周年を迎えた鹿沼カントリー倶楽部は、県内ゴルフ場のリーダーとしての自覚をもち、つねに理想高い運営を心がけていかねばならないと気持を引締めております。どうぞいっそうのご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



## 新らたな出発

代表取締役社長 福島 充

今般、鹿沼カントリー倶楽部が満15周年を迎えることができましたのは、ひとえに会員各位ならびに地域の関係者の皆様のあたたかご支援のたまものでございます。心より厚く御礼を申し上げます。お蔭様で、当倶楽部も年毎に安定の度を深め、向上を続けておりますことをご報告申し上げます。

思えば10周年を、いわゆる“オイル・ショック”のさなかに迎え、いままた第二次石油危機ともいふべき時に15周年を迎えますことは、なにか因縁めいた気がいたしますが、このように節目ごとに大きな変動に直面するということは、むしろプラスになることだと私は考えております。

何周年といっても、単に形だけの区切りに終わってしまいがちなものですが、社会的、経済的な“うねり”を目前にした時、我々はいやおうなく頭の切りかえを強いられ、惰性から目ざめさせられるからです。

日々、心をあらたにするのが賢人でありましょうが、凡夫としてはせめてこの15周年を一つの区切りとし、これから第一歩を踏み出す気持ちで16年めのスタート台に立ちたいと考えております。

これから20年、30年と、鹿沼カントリー倶楽部が、ゴルフというすばらしいスポーツと共にますます栄えていくことを願い、いっそう努力を続けますので、何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 55年度競技日程決まる

去る10月14日(日)に開かれた競技委員会において、昭和55年度、クラブ公式競技日程および実施要項が決定されました。

以下に本年と変わった点を概説しましたが、競技日程および実施要項については同封の「競技日程表」に、競技規則については本誌5～6頁に詳しく記載してありますので、ご一読くださるようお願い申し上げます。

### ◆ハンディキャップのクラス区分が

- Aクラス 0～16、Bクラス 17～21、  
Cクラス 22～40(31以上の方は30にて)となりました。  
(従来はAクラスが15まで)

### ◆倶楽部選手権の参加資格がハンディキャップ10までになりました。(従来は14まで)

### ◆月例杯をA・B・Cクラスそれぞれ別の日に分けて行なうことになりました。参加希望者の増大に応じ、より多くの方が月例杯に参加できるよう配慮いたしましたもので、原則として競技専用コースを設定しますので、十分に実力を発揮していただけることと存じます。

### ◆倶楽部選手権の予選が36H.S.Pになりました。(従来は27H.S.P)

### ◆キャプテン杯がA・B・Cクラス別で行なわれることになりました。(従来はA・B・C合同)

### ◆セニア選手権とグランドセニア選手権の競技日が別になりました。 グランドセニアは平日開催です。

### ◆理事長杯の1・2回戦、および倶楽部選手権の1・2回戦(ともにマッチ・プレー)が平日に行なわれることになりました。

### ◆女子の競技参加者は赤のティーマークを使用することが正式に決定されました。

### ◆北13番の池が「平行ウォーターハザード」となります。

## プレーのご案内

### <諸料金> 昭和54年11月1日現在

メンバーフィ	200円	施設整備費	1,200円
ビジターフィ	平日 5,000円	キャディ・フィ	1R 1,600円
	土曜 8,000円	ロッカーフィ	0.200円
	日・祭日 10,000円	ゴルフ保険料	30.20円
利用税	1,000円	愛の基金	10円

### <スタート予約> 昭和55年1月より

プレー曜日	受付場所	受付電話	受付開始日時
平日(月～金)	ゴルフ場保健センター 東京サービスセンター	0289(75)3824 03(563)1891	1ヶ月前より
土・日・祭日	ゴルフ場 予約センター	0289(75)3824	* 17日前午前10時より

\*55年1月～12月の土・日・祭日プレー予約につきましては右にカレンダー形式としてまとめましたのでご利用ください。

### <倶楽部競技参加申込み>

競技別	受付場所	受付電話	受付日時
予選のある 倶楽部競技	ゴルフ場 予約センター	0289(75)3824	2ヶ月前より開始 15日前に締切
予選のない 倶楽部競技	ゴルフ場 予約センター	0289(75)3824	17日前より開始 定員になり次第締切

### <土曜・日曜・祭日プレーのお申込み組数>

土・日・祭日プレーの予約に関しましては、一回の電話でお申込みできる組数を原則としてオールメンバーの場合2組まで、ビジター同伴の場合1組までに制限させていただいておりますのでご了承ください。なお、土・日・祭日のプレーは1組(4名)のうち1名のメンバー同伴が必要です。

### <土曜・日曜・祭日プレーのビジター予約手続き>

●スタート予約後三日以内に予約金1名3,000円(ビジター・フィ内金)を東京サービスセンターまたはゴルフ場フロントにお納め下さい。予約金と引換えにビジターズ・カードをお渡しします。

●予約取消の場合は必ずプレー日の3日前までに東京サービスセンター又はゴルフ場にご連絡願います。その後のキャンセルの場合は予約金はお返し出来ません。

(予約金の返済については1週間以内にビジターズカードと引換えに東京サービスセンター又はゴルフ場にてご返金致します。)

# 1980年 土・日・祭日プレーの予約カレンダー

土曜・日曜・祭日プレーの予約受付開始日をわかりやすくカレンダー形式にまとめました。お間違えのないようご確認ください。

- (1) 上段がプレー日、下段が予約受付開始日です。たとえば3月16日(日)にプレーご希望の場合は3月16日の下段に記した%、つまり2月28日が予約受付開始日となります。
- (2) ○で囲んだ日はゴルフ場休業日です。(毎週月曜日が休業日ですが、月曜日が祭日にあたる場合は翌火曜日が休業となります。但し変則の場合もありますのでカレンダーをよくご確認ください。)
- (3) 2月26日は社員慰安旅行のため休業させていただきます。
- (4) 1月2日(水) 3日(木) は祭日扱いになります。

昭和55年より土・日・祭日プレーの予約受付開始日が変更(17日前)になります。但し変則の場合もありますので詳しくはカレンダーをご参照下さい。

1

日	月	火	水	木	金	土
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
13%	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

4

日	月	火	水	木	金	土
⑥	⑦	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7

日	月	火	水	木	金	土
⑥	⑦	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

10

日	月	火	水	木	金	土
⑤	⑥	7	8	9	⑩	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2

日	月	火	水	木	金	土
③	④	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	

5

日	月	火	水	木	金	土
①	⑤	⑥	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8

日	月	火	水	木	金	土
③	④	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

11

日	月	火	水	木	金	土
②	③	④	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

## 《ロッヂの使用について》

ロッヂを使用する時は、ゴルフ場予約センター又は東京サービスセンターに予約し予約券を購入して下さい。ロッヂ宿泊予約は平日(月~木曜)は1カ月前から、金・土及び祭日の前夜は17日前からです。ロッヂ到着時間は午後10時厳守です。(午後10時を過ぎた場合はお泊りになれないこともありますのでご注意ください)

## 《スタート開始時間》

- ◎3月21日から11月20日まで  
平日 午前8時 土・日・祭日 午前7時30分
- ◎11月21日から3月20日まで  
平日 午前8時30分 土・日・祭日 午前7時30分

3

日	月	火	水	木	金	土
②	③	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6

日	月	火	水	木	金	土
①	②	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

9

日	月	火	水	木	金	土
⑦	⑧	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12

日	月	火	水	木	金	土
⑦	⑧	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

# 昭和55年度 競技規則

鹿沼カントリー倶楽部 競技委員会

## 責任・権限

1. 競技はすべて競技委員会が決定する。
2. 競技はすべてJ・G・Aゴルフ競技規則、本倶楽部制定の本競技規則および付則を以って行なう。

## 競技の成立

3. 競技は16人以上の参加者がなければ成立しない。  
(但し競技委員会が特に認めた場合はこの限りではない。)

## 競技の参加

4. 本倶楽部のハンディキャップを持たない者は競技に参加することができない。
5. J・G・A加盟のクラブでハンディキャップに変更のあった場合は、速かにハンディキャップ委員会に報告し、新ハンディキャップの決定を受けなければならない。(JGA公認ハンディキャップも含む)これを怠れば失格する。
6. 倶楽部のハンディキャップを新たに取得した者は、最初の倶楽部競技のみ入賞の資格を失う。
7. 当該競技の前3ヶ月以内に本倶楽部へスコアカードを提出していない者は、入賞の資格を失う。  
(但し、理事長杯、セニア選手権、倶楽部選手権はこの限りではない。)
8. 予選のある競技の参加申込みはゴルフ場予約センターにて2ヶ月前から受付け15日前に締切る。スタート時間および組み合わせは抽選により決定し参加者に通知する。予選のない競技の参加申込みはゴルフ場予約センターにて17日前から受付け、定員に達次第締切る。
9. 競技参加料は申込時、倶楽部フロントに支払わねばならない。支払いなき場合は競技の参加資格を失う。
10. 競技に参加するには、スタート前に備付けの競技者名簿に署名し、競技用のスコアカードの交付を受け、定められた時刻前にティーグラウンドに到着しなければならない。但し競技委員会が事由検討の上、特に認めた場合はこの限りではない。
11. 倶楽部選手権は、ハンディキャップ10までとし、理事長杯はハンディキャップ18までとする。  
その他の予選のある倶楽部競技または特に指示された競技の参加者はハンディキャップ40までとする。但し31以上の者は30として参加しなければならない。
12. 日曜、祭日に行なわれる倶楽部競技の参加資格は正会員とする。但し指定されている競技はこの限りではない。

## 競 技

13. 倶楽部選手権、セニア選手権はスクラッチ競技とし、前記以外の競技はすべてアンダーハンディキャップとする。(倶楽部選手権のセコンドフライトはアンダーハンディキャップとする。)
14. 倶楽部ハンディキャップをA、B、C3クラスに分け、Aクラスは0～16、Bクラスは17～21、Cクラスは22～40とする。
15. いかなる競技においても1組のハンディキャップの合計は、96を越えてはならない。ただし競技委員会が認めた場合はこの限りではない。
16. 女子の参加者は、赤のティーマークを使用する。
17. 競技委員会が競技の実施上差支えがあると認めた時は、中止または、日時、種目、方法その他の変更をする事がある。この場合には、そのつど倶楽部内に掲示する。
18. ストローク競技においては、18ホールズごとに速かにアテストされたスコアカードを提出せねばならない。これを怠れば失格する。
19. 27ホールズ以上の競技においては、18ホールズを終了後、18ホールズの競技においては、9ホールズを終了後、30分間以内に限り昼食等をとるため、クラブハウスで休憩する事ができる。
20. 競技者の成績が同位となった場合の規定。  
<ストロークプレーの場合>  
A、競技者の年長上位とし、なお同位の場合はハンディキャップの上位とする。  
B、27ホールズを越えた競技においては  
a. 倶楽部選手権はモーニング・スコアにより決定。  
b. セニア選手権は3ホールズごとの再競技により決定。  
<マッチプレーの場合>  
A、ハンディキャップの有無にかかわらずエキストラホールで決定する。  
B、エキストラホールのハンディキャップ・ホールは前ラウンドと同じにする。
21. マッチプレーの決勝トーナメントにおいては、競技の日時を、競技日程表の期日以内に競技者の間で話し合いにより競技委員会の承認を得て決めることができる。もし話し合いがつかない場合は、競技委員会が決定する。これに反した者は棄権とみなす。
22. マッチプレーの競技は、双方のハンディキャップ差の4分の3とする。
23. 倶楽部競技に参加していない組は、スタートの制限を受け、またパスさせねばならない。

## 《競技付則》

1. 倶楽部競技は、スタート予約時間を10時30分までで締切る。
2. 競技参加者は当日フロントにおいて、スタート時間20分前までに署名すること。(最終受付9時40分)20分前までに署名なき場合、競技失格とする。但し競技委員会が認めた場合は、この限りではない。
3. 競技欠席の連絡は、競技前日までにフロントへ連絡すること。競技当日やむをえない理由により欠席する場合は、当日フロントへ電話連絡を行なうこと。なお、連絡なく欠席した場合は、本年度公式競技の参加を認めないものとする。
4. 北6番、北13番、北16番、南7番の池は平行ウォーターハザードとする。
5. アンダーリベアは、白線または赤杭をもって標示する。なおコンクリート舗装道路は動かせない障害物とし、白線、赤杭なき場合は、いかなる状況であろうとノータッチプレーにて進行する。(コース内の舗装なき道路はいかなる状況下であろうとノータッチプレーにて進行する)
6. OBは白杭をもって標示する。
7. ウォーターハザードは青杭をもって標示する。
8. 使用していないグリーンにボールが止まった時またはスタンスが使用していないグリーンに触れる時は、そのグリーンは使用禁止とし、無罰でピンに近寄らない場所の2クラブレンジ以内にドロップする。
9. スルーザグリーンにおいて、球が落下の勢いで地面に喰い込んだ時は罰無しに拾い上げて球を拭い前位置にできるだけ近く、ホールに近づかないところで2クラブレンジ以内にドロップすることができる。
10. 樹木の添木、保護ネットは、樹木の一部とみなす。支柱、針金は動かせない障害物とする。
11. ティーグラウンド脇のベンチ、目土箱、散水栓、水飲み場、ホール標示板、コンクリートU字溝、ヒューム管、鉄製の各排水溝、メートル標字杭は動かさない障害物とする。
12. ショートホールにおいて後続組がティーグラウンドに到着している時は、グリーン上の球をマークして取除き、後続組に打たせること。
13. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあげないよう注意のこと。なお、2ホール間隔があった場合、その組全員に2打罰を加えるものとする。(審議決定は、競技委員会が行なうものとする。)

14. 当日の状況により競技特別規則を追加または変更した時は、スタート地点に掲示する。
15. 表彰式は、午後4時30分より2階食堂において行なう。入賞者の表彰式出席なき場合その入賞者は失格とし、次位者繰り上げとする。なおやむをえない理由により表彰式に出席できない場合、代理人を立てることを認める。  
(競技委員、クラブ従業員の代理は認めない。)
16. その他のルールは、J・G・A 競技規則に基づくものとする。

## 《プレーのラウンド順》

### 1. 一般プレーのラウンド順

北アウト → 北 イン → 南 イン  
北 イン → 黄 金 → 北アウト  
南アウト → 南 イン → 黄 金  
南 イン → 南アウト → 北 イン  
黄 金 → 北アウト → 南アウト

### 2. 月例杯の使用コース

1月、3月、5月、7月(市長杯)、9月、11月 — 南コース  
2月、4月、6月、10月、12月(ラストコールド杯) — 北コース

### 3. 社長杯のラウンド順

南アウト → 南 イン    南 イン → 南アウト

### 4. セニア選手権のラウンド順

北アウト → 北 イン

### 5. 理事長杯のラウンド順

北アウト → 北 イン    北 イン → 北アウト

※この場合、一般プレーヤーのラウンド順は

南アウト → 南 イン → 黄 金  
南 イン → 黄 金 → 南アウト  
黄 金 → 南アウト → 南 イン

### 6. 倶楽部選手権のラウンド順

南アウト → 南 イン    南 イン → 南アウト

※この場合、一般プレーヤーのラウンド順は

北アウト → 北 イン → 黄 金  
北 イン → 黄 金 → 北アウト  
黄 金 → 北アウト → 北 イン

- ☑ 上記ラウンド順をやむをえない事情で変更する場合は、そのつど倶楽部内に掲示します。



## 北極圏の旅

ハンディキャップ委員長

鈴木 恒

### 北極圏のゴルフ

「北欧の自然をさぐる旅」というツアーに参加して、成田を立ったのは、昨年の7月5日であった。

コペンハーゲンで飛行機を乗りかえ、ストックホルムに、二・三日、オスロに一泊した。この二つの都市は、ゴルフ発祥地であるスコットランドと緯度が同じで、素晴らしいゴルフ場があるのだが、名所旧蹟回りで、残念ながらプレイする機会を失ってしまった。

私どもはさらに北部ノルウェーの旅を続けたあと、いったんオスロに帰り、再び飛行機でアイスランドに向かった。

アイスランドの北の都アクレリという町に行った時、ゴルフ場を見つけ、立ち寄った。アクレリは北緯57度で、冬季はクローズし、4月末日から10月までがプレイの季節だとのこと。このコースの理事長グンナー・ソルネス氏の話によると、普通は、夜の12時までがプレイの時間だが、今の季節は白夜でオールナイトプレイができるそうだ。クラブ競技会として、ミッドナイトサン・コンペティションが開催されるという。

私どもはなんとかして北極圏でのゴルフを実現したい気持で旅行日程を差し繰り、ついにアイスランド首都レイキャビックのネスゴルフ場で夢をかなえることになった。白夜のナイターを企画したが残念ながら雨のため中止、翌日のゴルフとなったのである。

レイキャビックは、世界最北の首都である。私どもの組は、さきの朝日新聞、「天声人語」担当・荒垣大人、日本電子・芦沼重役、それに私の三名であったが、7月の中旬というのに、皆ゴルフシャツに厚いセーター、ウインドブレイカーといういでたちである。

コースはシーサイドコース。アイスランドは樹木がほとんどないので、アクレリのゴルフ場も、このネスゴルフ場も、まったく木のみあたらぬ、一面の平らな草原である。

フェアウェイは非常に狭く、ラフは長い雑草に覆われている。ナインホールを廻ったが、スコアはまったく駄目であった。日本の手入れの行き届いたコースに馴れている私どもにとって、北極圏のゴルフは、“お手上げ”である。

アジサイ（カモメの仲間）がたくさん飛んでいた。ラフの草むらに巣があり、ときどき我々を襲ってくるのには驚いた。ちなみにこのコースのピジタース・フィーは、一人当り、10ドルであった。

### 北極圏のエスキモー

グリーン・ランド東海岸の、クルスク飛行場に飛んだのは、7月17日で、奇しくも、植村直己がグリーン・ランド2600km横断の真最中の事であった。

この犬橇での横断は、グリーンランド全土の85%の内陸氷河と最高3800mに及ぶ高山の無人地帯を犬橇で突破する、最も危険なものであって、むしろ北極圏横断より難事と考えられていた。

この冒険成功の裏には、北極横断の場合の米国海軍の無電と、航空機による食糧補給が完全に行われるのと同様の方式によって実施されていたようである。

この大西洋と北極海に浮ぶ、世界第一の大島（日本の6倍）について、私が一番不思議に思う事は、「グリーンランド」という島名である。この島は、わずかに夏期に南部のほんの一部がグリーンになるだけで、全島は、一年中、雪と氷河に覆われている。

グリーンランドの命名者は、アイスランドの冒険家、赤毛のエリクである。この大きな島の人口は、49,000人であって、住民は、ノルウェー人、エスキモー人、両者の混血があり、そのうち混血が大半を占めている。動物は、トナカイ、ジャコウ牛、北極熊、オオカミ等が多数生息し、海辺には、アザラシ、鯨も多く、いずれもエスキモーの食糧である。

エスキモーは、人類学的には、私共日本人と先祖を同じくするといわれている。幼児の時、お尻に青い斑点を持っていて、蒙古斑点と呼んでいる。エスキモー人と日本人が、先祖を同じくしていることについては、現地でエスキモー人と接してみて、誠に不思議な思いであった。

北極圏でのエスキモーの居住は古いが、いつからかは、はっきりしない。彼等は、厳しい環境に耐え、これに適応した生活様式を築いている。

エスキモーは、ユーラシア大陸から北極海諸島を経て、グリーンランドに至る北極海岸に広がっている。人口は、約5万人。北米(アラスカ)に3万、その他の地方に2万人というところである。アザラシ、鯨、トナカイを主食としている。植物はまったくなく、わずかに海草、苔などを食している。彼等の生活は、獲物を追って移動する。水があつて、アザラシが群棲する場所だけに定住している。彼等の移動は、犬橇で行なう。15頭の犬で一日70km～80km移動する。海上は、皮舟による。一人乗りのカヤクと、最大30人乗りのウシアック（長さ10m。木枠にアザラシの皮を張ったもの）で航行している。

この世界で最も原始的な民族も、欧米人と接してからは新しい生活様式に変わり、今では弓矢の代わりに銃、犬橇の代わりに、スノーモビルを使うようになってきたが、この少数民族も、しょせん、滅びゆく民族であるように思えてならない。（編集部注＝一部、前号と重複しています）



# 競技記録

## 理事長杯



優勝・渡辺雄一氏

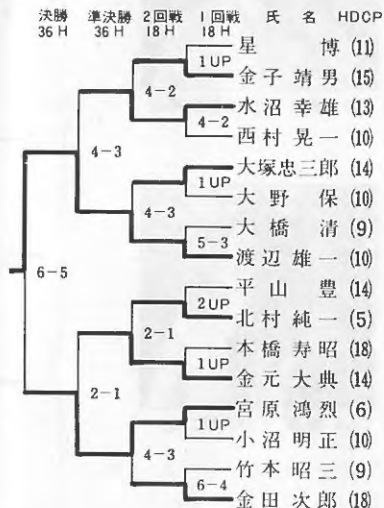
- ◎優勝 渡辺雄一 ◎準優勝 宮原鴻烈
- ◎3位 水沼幸雄、金元大典
- ◎メダリスト 北村純一

### 決勝トーナメント

4月8日(日)、15日(日)、22日(日)  
マッチプレー 北 OUT IN

### 予選 4月1日(日)、18H.S.P. 北OUTIN

	OUT	IN	TOTAL	HDPCP	NET
1位	星 博	37	39	76	11 65
2位	平 山 豊	42	38	80	14 66
3位	大塚 忠三郎	42	40	82	14 68
4位	宮原 鴻烈	39	35	74	6 68
5位	水沼 幸雄	41	40	81	13 68
6位	本橋 寿昭	42	45	87	18 69
7位	大橋 清	40	38	78	9 69
8位	竹本 昭三	39	39	78	9 69
9位	金子 靖男	38	46	84	15 69
10位	北村 純一	38	36	74	5 69
11位	大野 保	39	41	80	10 70
12位	小沼 明正	40	40	80	10 70
13位	西村 晃一	40	40	80	10 70
14位	金元 大典	43	41	84	14 70
15位	渡辺 雄一	41	39	80	10 70
16位	金田 次郎	46	43	89	18 71



セニア優勝・永吉美芳氏

## セニア選手権

- ◆予選 6月10日(日)  
18H.S.P.(スクラッチ)北OUT IN
- ◆決勝 6月17日(日)  
18H.S.P.(スクラッチ)北OUT IN
- ◆年齢 満50歳以上

	OUT	IN	TOTAL
優勝	永吉美芳	150	(38 39 77) (36 37 73)
準優勝	武石小二郎	159	(38 42 80) (42 37 79)
3位	水巻外吉	162	(43 40 83) (41 38 79)
4位	田上達樹	163	(37 44 81) (37 45 82)
5位	東 武	166	(41 40 81) (43 42 85)



グランドセニア優勝・田村角十郎氏

## グランドセニア選手権

- ◆予選 6月10日(日)  
18H.S.P.(スクラッチ)北OUT IN
- ◆決勝 6月17日(日)  
18H.S.P.(スクラッチ)北OUT IN
- ◆年齢 満60歳以上

	OUT	IN	TOTAL
優勝	田村角十郎	165	(45 38 83) (43 39 82)
準優勝	岩田喜一	172	(48 44 92) (41 39 80)
3位	増田栄一	173	(40 44 84) (43 46 89)
4位	坂本平一郎	176	(44 45 89) (42 45 87)
5位	本告熊雄	177	(42 43 85) (44 48 92)

# 競技記録

## 倶楽部選手権



1st 優勝・山田保太郎氏



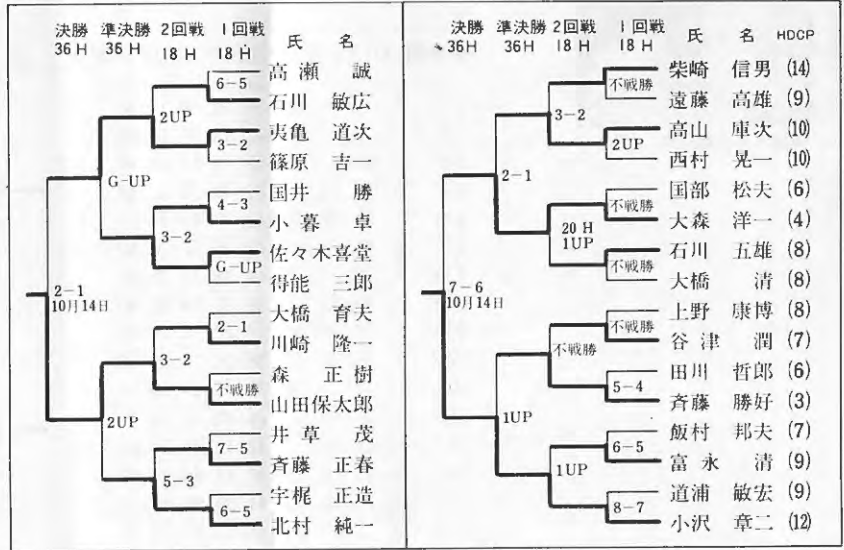
2nd 優勝・小沢章二氏

### 《ファースト・フライト》

優勝 山田保太郎 準優勝 夷電道次  
3位 佐々木喜堂 北村純一  
◎メダリスト 北村純一

### 《セコンド・フライト》

優勝 小沢章二 準優勝 大森洋一  
3位 斉藤勝好 高山庫次



## キャプテン杯

予選 8月12日(日) 18H.S.P. (スクラッチ) 予選から通算  
決勝 8月19日(日) 18H.S.P. (スクラッチ) 南OUT 南IN

優勝	北村 純一	38	36	74	156	10位	渡辺 雄一	42	39	81	162
2位	宮原 鴻烈	39	38	77	158	11位	谷津 潤	40	41	81	163
2位	富岡 秀人	43	40	83	158	12位	神田 邦男	42	41	83	164
4位	斉藤 勝好	40	39	79	159	13位	高木 利	43	39	82	165
5位	永吉 美芳	39	42	81	160	13位	羽田野義雄	41	41	82	165
5位	佐々木喜堂	40	41	81	160	15位	石川 五雄	41	41	82	166
5位	石川 敏広	42	39	81	160	15位	宇梶 正造	43	40	83	166
8位	橋田 透	44	36	80	161	17位	金子貢一郎	40	42	82	168
8位	富永 清	41	39	80	161	18位	星 博	43	40	83	169

## クラブ対抗競技

## 栃木地区予選

5月30日(水)

(36ホールズ・スクラッチプレー)

### 鬼怒川温泉ゴルフクラブ

1	栃木 CC	482	16	皆川 城 CC	524
2	鳥山城 CC	485	17	宇都宮国際 CC	526
3	鬼怒川温泉 GC	487	18	鹿沼国際 CC	536
4	都賀 CC	490	19	ジュンクラシック CC	546
5	唐沢 GC	491	20	華 殿 CC	549
6	塩原 CC	493			
7	宇都宮 CC	494			
8	鹿沼 CC	502			
9	矢板 CC	505			
10	那須小川 CC	506			
11	日光 CC	507			
12	泉月 GC	509			
13	関東国際 CC	512			
14	梓 GC	512			
15	広陵 CC	521			

### 鹿沼カントリー倶楽部メンバー

	北村 純一	80
	佐々木喜堂	81
	斉藤 正春	81
	斉藤 勝好	83
	大橋 育夫	86
	永吉 美芳	88
	田上 達樹	89
	北田 潤	93

# 競技記録

## 53年11月度 月例杯

《Aクラス》

優勝 田村 米 作 65  
2位 宇 梶 正 造 67  
3位 山 本 新 太 郎 70  
B.G 宮 下 泰 男 77

《Bクラス》

優勝 桐 生 次 男 66  
2位 金 田 次 郎 67  
3位 飯 沼 畦 畦 67  
B.G 篠 原 健 次 84

《Cクラス》

優勝 関 根 清 62  
2位 大 原 貞 修 63  
3位 川 口 治 65  
B.G 村 上 了 介 88

## 53年ラストコールド杯

《Aクラス》 (12月)

優勝 高 山 康 次 68  
2位 藤 田 新 一 郎 68  
3位 大 塚 洋 69  
B.G 藤 田 新 一 郎 78

《Bクラス》

優勝 照 井 繁 67  
2位 伊 豆 田 源 一 郎 67  
3位 佐 藤 尚 志 68  
B.G 伊 豆 田 源 一 郎 85

《Cクラス》

優勝 村 上 辰 夫 60  
2位 荒 川 義 任 64  
3位 沢 田 勝 68  
B.G 村 上 辰 夫 84

## 54年1月度 月例杯

《Aクラス》

優勝 阿 久 津 忠 68  
2位 斉 藤 勝 好 70  
3位 江 島 一 夫 71  
B.G 斉 藤 勝 好 74

《Bクラス》

優勝 小 宮 德 男 68  
2位 高 田 陸 郎 70  
3位 金 子 靖 男 70  
B.G 金 子 靖 男 86

《Cクラス》

優勝 青 木 正 之 66  
2位 大 根 田 昭 66  
3位 伊 藤 友 久 67  
B.G 青 木 正 之 90

## 54年 2月度 月例杯

《Aクラス》

優勝 富 永 清 69  
2位 夷 亀 道 次 70  
3位 大 橋 清 71  
B.G 夷 亀 道 次 75

《Bクラス》

優勝 武 笠 重 雄 66  
2位 塩 沢 角 雄 69  
3位 藤 野 明 70  
B.G 武 笠 重 雄 85

《Cクラス》

優勝 伊 藤 友 久 68  
2位 山 内 明 男 69  
3位 坂 本 洋 一 69  
B.G 岩 本 武 夫 94

## 54年 3月度 月例杯

《Aクラス》

優勝 大 橋 育 夫 69  
2位 平 田 修 一 69  
3位 小 沼 明 正 70  
B.G 大 橋 育 夫 74

《Bクラス》

優勝 中 村 正 吉 69  
2位 箱 島 雄 弘 69  
3位 畑 井 智 明 72  
B.G 池 田 昇 89

《Cクラス》

優勝 榎 本 博 行 64  
2位 鎌 田 光 男 65  
3位 吉 田 立 世 66  
B.G 榎 本 博 行 90

## 54年 4月度 月例杯

《Aクラス》

優勝 高 木 利 66  
2位 田 崎 省 三 69  
3位 石 川 五 道 次 70  
B.G 夷 亀 道 次 76

《Bクラス》

優勝 中 村 正 吉 68  
2位 今 野 豊 治 69  
3位 松 下 春 男 69  
B.G 北 村 治 夫 85

《Cクラス》

優勝 白 戸 広 67  
2位 会 田 晴 彦 68  
3位 国 井 勇 68  
B.G 白 戸 広 90

## 54年 5月度 月例杯 (雷雨のため不成立)

## 54年 6月度 月例杯

《Aクラス》

優勝 石 原 達 哉 67  
2位 妹 尾 烈 己 68  
3位 渡 辺 雄 一 68  
B.G 渡 辺 雄 一 76

《Bクラス》

優勝 入 江 孟 夫 66  
2位 高 林 等 夫 66  
3位 遠 藤 文 武 68  
B.G 金 子 秀 継 84

《Cクラス》

優勝 佐 藤 忠 之 66  
2位 浅 古 敏 義 66  
3位 宮 崎 佐 一 郎 68  
B.G 浅 古 敏 義 89

## 54年度 市長杯 (7月)

《Aクラス》

優勝 木 名 瀬 長 則 66  
2位 佐 々 木 喜 堂 68  
3位 田 崎 省 三 68  
B.G 佐 々 木 喜 堂 71

《Bクラス》

優勝 遠 藤 斌 64  
2位 服 部 満 67  
3位 大 山 進 一 67  
B.G 遠 藤 斌 83

《Cクラス》

優勝 茂 木 泰 雄 61  
2位 二 宮 一 郎 63  
3位 豊 田 定 一 64  
B.G 二 宮 一 郎 86

## 54年度 福島杯 (7月)

(ワンボール・ダブルス)  
アンダーハンディ

優勝 (高橋 哲哉) 68.5  
(菊地 光男)

準優勝 (斉藤 勝好) 69  
(水沼 幸雄)

3位 (清野 勝利) 70.5  
(中村 正吉)

4位 (石川 敏明) 72.5  
(伊藤 勝利)

5位 (松田 専一) 73  
(佐々木 喜堂)

B.G (斉藤 勝好) 77  
(水沼 幸雄)

## 54年度 ファミリー杯(8月)

(ワンボール・ダブルス)  
スクラッチ

優勝 (佐藤 敬次) 82  
(佐藤 誠)

準優勝 (金子 友衛) 87  
(金子 和友)

3位 (金子 貢一郎) 87  
(金子 哲也)

4位 (桜井 勝一) 91  
(桜井 敦)

5位 (柏崎 松雄) 93  
(柏崎 一之)

## 8月26日(日)

### 栃木県知事杯 18.H.S.P

《Aクラス》

優勝 星 定 夫 67  
2位 鹿 沼 恒 男 68  
3位 高 山 庫 次 71  
ベストクロス 北 村 純 一 77

《Bクラス》

優勝 榎 原 彬 人 65  
2位 井 藤 保 68  
3位 吉 田 佳 弘 68  
ベストクロス 榎 原 彬 人 82

《Cクラス》

優勝 小 林 政 一 60  
2位 石 田 昌 弘 64  
3位 平 岡 宏 二 64  
ベストクロス 平 岡 宏 二 86

## 9月16日(日) 船田杯

18.H.S.P

《Aクラス》

優勝 関 口 謙 次 郎 65  
2位 呉 本 京 秀 68  
3位 横 山 靖 之 69  
ベストクロス 桜 井 勝 一 75

《Bクラス》

優勝 駒 崎 喜 良 63  
2位 鳥 水 伸 三 68  
3位 梁 瀬 和 男 69  
ベストクロス 駒 崎 喜 良 83

《Cクラス》

優勝 青 山 幸 雄 66  
2位 矢 内 巧 彦 66  
3位 野 元 康 久 67  
ベストクロス 八 木 喬 90

## ベントグリーンの使用について

54年春の高麗グリーン改造に続き、54年8月上旬より9月上旬にかけて、ベントグリーンの改造を行ないましたことは、すでにご承知の方も多いことと存じます。

長年の踏圧のため特に芝の衰えた15面（北コース7面、南コース8面）を根本的に土壌から改造いたしましたもので、54年11月下旬より使用を開始できるよう管理を進めてまいりました。

しかしながら、芝播種後の高温続きと、その後の長雨のために芝の成育がかんばしくなく、遺憾ながら、まだ使用できる状態に至っておりません。

このため、54年11月25日にグリーン委員会にはかり、55年3月いっぱいまで高麗グリーンを使用していただき、4月よりベントグリーンに切換えさせていただく旨、ご了承いただきました。

申すまでもなく、この間、プレーヤーの皆様にご迷惑をおかけせぬよう、高麗グリーンの整備には全力をあげますこと、また4月からはベントグリーンを最良の状態でお使いいただけるよう万全を期すことをお約束いたしますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

これまで、とくにグリーンについては長い間皆様にご迷惑をおかけしておりましたが、目下、3年計画で高麗およびベントグリーンの改造に取り組んでおります。

コース管理部員の増員、受水槽の増量ほか管理体制を整え、かつ管理方法についても充分検討いたし、必ず、皆様にご満足いただけるグリーンに改造いたしますので、何卒もうしばらくお時間を下さるよう、お願い申し上げます。

## 「食堂の拡張」などハウス改造に着手

当倶楽部では、この11月初めより、これまで機械的に何かと問題のあったクラブハウスの改造工事に着手いたしました。

完工は55年3月末の予定で、この間プレーヤーの皆様にはご不便をおかけすることも多いと思いますが、いずれも、よりご利用しやすく、くつろげるクラブハウスとするための工事ですので、しばらくの間、何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

工事概要は下記の通りです。

### ■2階食堂の拡張工事

従来のロッジの一部を食堂に改造し、約100㎡拡張します。（談話室のスペースをより広くいたします。）

### ■女子浴室・トイレ・ロッカー室の移設

2階から1階に移設（男子ロッカー室に隣接）します。スペースも広くとり、女性の皆様にもゆったりご利用していただけるようになります。

### ■男子ロッカー室の増設、男子浴室脱衣場の拡張・改装。

■その他 クラブハウスおよび周辺各所の改造。  
（駐車場の整備拡張など）

## 事務局 人事異動のお知らせ

54年11月1日付にて専務取締役・鈴木修が総支配人職を辞し、後任として福島章夫が就任いたしました。

前任者におよせいただきました旧来のご厚情に対し厚く御礼申し上げますとともに、新任者につきましても倍旧のお引立てご指導を賜りますようひとえにお願い申し上げます。

失礼ですが本誌面をかりてご挨拶かたがたお願い申し上げます。

株式会社 鹿沼カントリー倶楽部

代表取締役社長 福島 充  
専務取締役(新総支配人) 福島 章夫

## 鹿沼カントリー倶楽部

(株)鹿沼カントリー倶楽部

ゴルフ場／栃木県鹿沼市藤江町1545-2

☎ 0289(75) 2 1 3 1 (代)

予約センター ☎ 0289(75) 3 8 2 4 (代)

東京サービスセンター／東京都中央区京橋 2-7-6 鹿沼ビル

☎ 03 (563) 1 8 9 1 (代)